

帰還困難区域内の国道 288 号及び県道 35 号における除染後の状況について

平成 27 年 2 月 25 日

環境省除染チーム

国道 288 号の避難指示解除準備区域と帰還困難区域の境界～大熊町大字野上字山神地内交差点の区間（別紙の①）及び県道 35 号の居住制限区域と帰還困難区域との境界～大熊町大字野上字山神地内交差点の区間（別紙の②）について、居住制限区域内への住民の立入りに配慮する観点から、環境省では除染作業を実施しました。その後、原子力被災者生活支援チームによりモニタリングカーによる走行サーベイが実施されました。

これらの結果を踏まえ、除染後の状況についてとりまとめましたので、公表します。なお、1 m 高さの空間線量率は除染後からさらに低減し、平均 1.1～1.8 μ Sv/h となっており、除染前と比較し平均 4～6 割程度低減していることを確認しました。

1. 除染事業の概要

(1) 実施期間

- ・国道 288 号：平成 25 年 9 月 27 日～平成 26 年 3 月 22 日
- ・県道 35 号：平成 25 年 7 月 31 日～平成 26 年 8 月 25 日

(2) 除染対象区間

帰還困難区域内の国道 288 号、県道 35 号（大熊町）

（国道 288 号：4.6km、県道 35 号：1.9km）

(3) 主な除染方法

除染対象	除染方法
舗装面	堆積物除去、高圧水洗浄又はブラスト
ガードレール	拭き取り
側溝	堆積物除去、洗浄
法面	草・落葉・堆積物の除去
コンクリート擁壁	高圧水洗浄

2. 空間線量率の状況

○国道 288 号

測定 点数 (除染前後)	1m 高さ空間線量率 (μ Sv/h)			低減率 ^{※3}	
	区分	除染前 ^{※1}	除染後 ^{※1}		平成 27 年 1 月 27 日 ^{※2}
312	平均	1.9	1.6	1.1	42%
	最大	5.3	4.4	2.3	—
	最小	0.9	0.6	0.5	—

測定日・除染前：平成 25 年 9 月 27 日～平成 25 年 10 月 15 日

・除染後：平成 25 年 11 月 26 日～平成 26 年 3 月 22 日

○県道 35 号

測定 点数 (除染前後)	1m 高さ空間線量率 (μSv/h)			低減率 ^{※3}	
	区分	除染前 ^{※1}	除染後 ^{※1}		平成 27 年 1 月 27 日 ^{※2}
144	平均	4.1	2.6	1.8	56%
	最大	11.6	4.5	2.4	—
	最小	2.2	0.8 ^{※4}	1.1 ^{※4}	—

測定日・除染前：平成 25 年 7 月 31 日～平成 26 年 8 月 25 日

・除染後：平成 26 年 1 月 30 日～平成 26 年 8 月 25 日

※1：除染前、除染後：「除染関係ガイドライン」の道路の除染における空間線量率の測定点の考え方に則り測定しているため、道路の路面の他、路肩等の測定結果も含む。

※2：平成 27 年 1 月 27 日：原子力被災者生活支援チームが、サーベイメーターを搭載した車両で道路を走行しながら測定したデータのうち帰還困難区域部分を使用。

※3：除染前から平成 27 年 1 月 27 日時点の低減率

※4：※1 及び※2 のとおり、除染後と平成 27 年 1 月 27 日では測定の方法や位置が異なるため、測定値に差が生じたと考えられる。

<参考>大熊町の避難指示解除準備区域及び居住制限区域において除染を実施した道路全体の除染結果

- ・除染前平均空間線量率 (1m 高さ) 1.92μSv/h
(測定時期：平成 24 年 12 月 20 日～平成 26 年 6 月 30 日)
- ・除染後平均空間線量率 (1m 高さ) 0.98μSv/h
(測定時期：平成 25 年 2 月 14 日～平成 26 年 8 月 22 日)
- ・除染による低減率 49%

【問合せ先】

環境省除染チーム 元永、藤井、佐藤(滋)

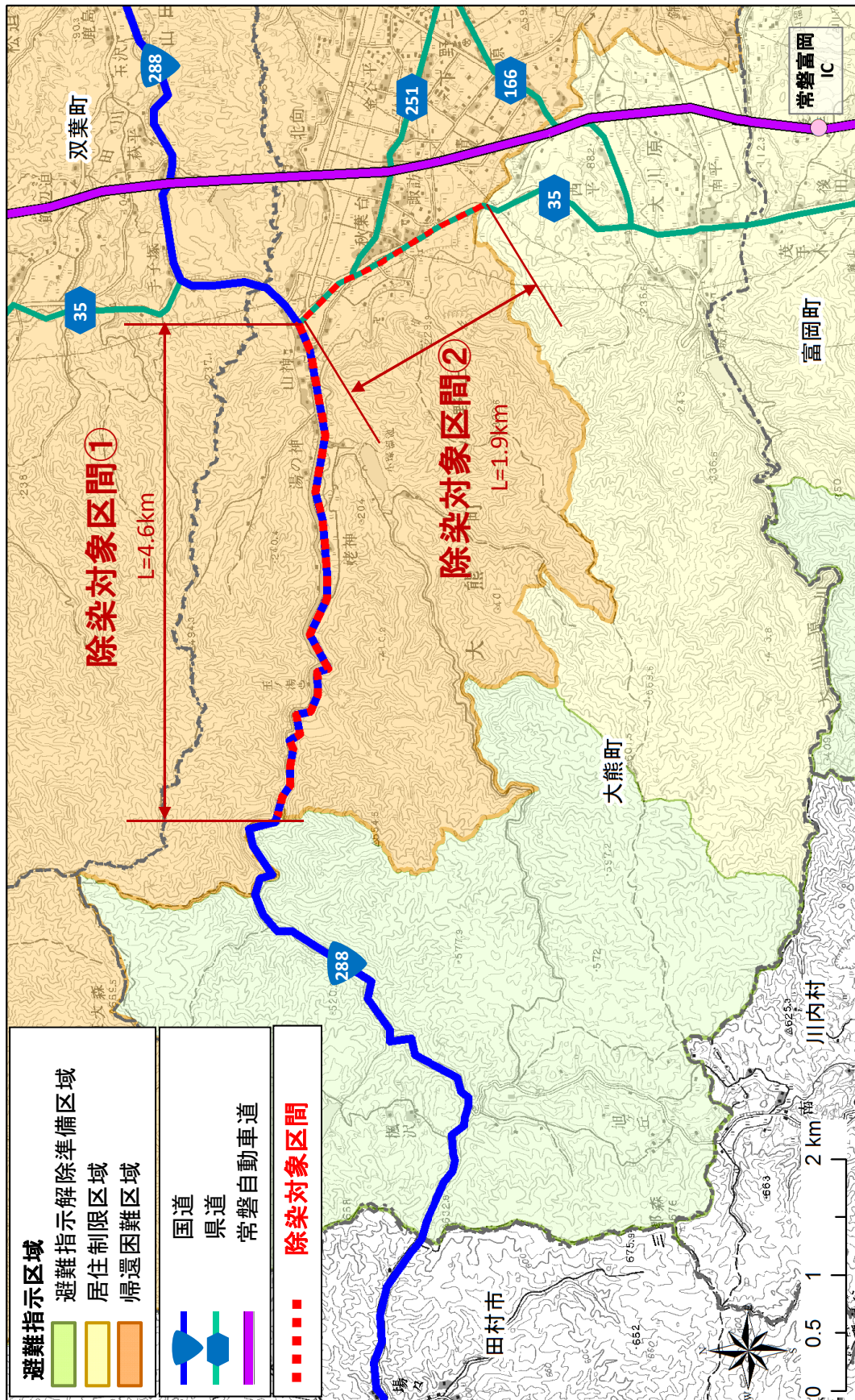
代表：03-3581-3351

内線：7539

環境省福島環境再生事務所 加藤、泉、内田

(024-573-7330)

帰還困難区域の国道288号・県道35号の除染位置図



国土地理院の数値地図50000(地図画像『浪江』を使用)